

6 オオハクチョウ

(カモ目)

Cygnus cygnus

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、カムチャツカ、サハリン、モンゴルなどで繁殖する。繁殖後はイギリス諸島からヨーロッパ、黒海、カスピ海、中国東部、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に北海道、本州北部で越冬する。本州中部以南にも不定期に渡来し越冬する。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、水生植物の根茎や田の落ちモミなどを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州北部、飛島、本州中・南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：三谷康則

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

姫路市、★明石市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、小野市、★加西市、養父市、南あわじ市、★稲美町、★神河町、香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌3月に記録がある。まれな冬鳥であるが、主に但馬地域と播磨地域に渡来し、近年は少数ながらほぼ毎年記録されている。その多くは、コハクチョウの群れに混じって行動していることが多い。

保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。